

伊勢市立東大淀小  
学校だより

# くすのき

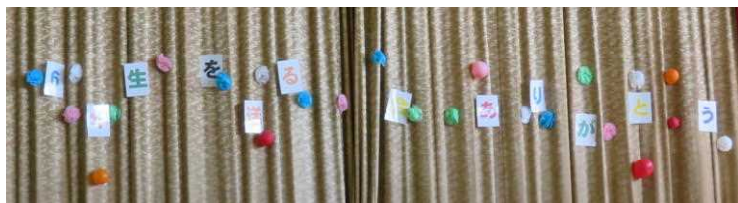


H29 NO.25

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~higasioizu-e/>

平成30年3月9日 編集・発行 東大淀小学校 中北好美

## 届けよう♪ 6年生への感謝の気持ち!



2月27日、5年生主催の6年生を送る会が行われました。6年生との思い出づくりの後はメッセージアルバムや歌のプレゼント。互いの感謝やお礼の言葉を交わして、全校でつくる花みちを6年生が笑顔で退場しました。↓

最後のたてわり班活動。たからさがしクイズの答えを相談。→



たてわり班對抗たからさがしクイズの表彰式。今までは表彰する側だったけど..。



←1年生から手作りのペン立てをプレゼント。似顔絵つきです。

## たてわり班で、円になって、いっしょに食べるとおいしいね!

こちら6年生との思い出づくり。26日、6年生と1年生との交換給食を行いました。それぞれ半数が入れ替わり、1年教室ではたてわり班のグループで、6年教室ではみんなが円になって、楽しく給食を食べました。1年生は「6年生といっしょに食べるといつもよりおいしい。」と笑顔で話していました。





ときのマナーなども時間をかけて話し合いました。

## わかってきました！みんなの生活

4年生が国語「報告します、みんなの生活」の単元で、アンケート活動に取り組みました。班別で読書や休日の過ごし方、好きなキャラクターやゲームについて調査。内容や表現、依頼する



↑結果はグラフなどを工夫して、わかりやすくまとめました。達成感いっぱい笑顔です。→



### ◇3.11に寄せて◇

7年前の3月11日、午後2時46分、東北地方太平洋沖地震が発生しました。私はそのとき志摩市の国府小学校に勤務していました。国府小学校は、海拔2.3m、大きな津波が発生したら10分以内に第1波が来ると言われています。太平洋沿岸一帯への津波警報発令を受けて、学校に残っていた低中学年・調理実習中の5年生を学校裏手の海拔14.6mの一時避難場所に避難させ、スペイン村に自転車でお別れ遠足に出かけていた6年生をそのまま駐車場に待機させました。午後5時30分、全児童の保護者への引き渡しを終えて、ほっと一息ついたことを今も覚えています。

東日本大震災で被災した子どもたちの作文集「つなみ」には、「校舎の3階ににげた。画用紙1枚でねました。」「学校のろうかであてていました。食パンを1/4にしたものが1人分でそんな日が何日か続いた。」「配られたおにぎり1個がうれしくて、10分かけて食べました。」など当時の壮絶な様子が率直に綴られています。国府に住む一人暮らしのお年寄り「足腰が弱っているんで、夜に地震が起こるのがこわい。朝が来るとほっとする。」と話していました。未だに遺体すら見つからない遺族の思いを安易に想像することも憚られますが、私にとってもこの大震災は、防災教育を考え、実践する切実なきっかけとなりました。

## ～行事予定～

- 3月15日(木) 卒業式前日準備・給食終了  
1～3年 13:15下校  
4・5年準備 13:20～
- 16日(金) 卒業証書授与式
- 20日(火) 児童会立会演説会・投票
- 22日(木) 大そうじ・通学団会
- 23日(金) 修了式・離任式
- 4月 9日(月) 着任式・始業式・入学式

## 活用しましょう！ 防災ハンドブック

まちづくり協議会の岡本忠佳会長が、FM三重発行の「みえ防災ハンドブック」を全児童分、手に入れてくれましたので配布しました。地震だけでなく風水害についても、日頃の備えや避難時の行動のしかた、避難後の情報収集や手続きなどが、わかりやすく書かれています。地震や風水害への備えとして、ぜひ活用してください。